

令和3年度 第4回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日時	令和4年2月25日（金）14時00分～15時30分
場所	役場第3会議室及び zoom
出席者	<p>委員 ※敬称略、順不同</p> <p>岡松猛 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）</p> <p>佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会）</p> <p>柳ゆかり 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会）</p> <p>近藤秀己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>後藤みほ 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>荒川和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>制野司 有識者（学校法人柳城学院）</p> <p>池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）</p> <p>小島通範 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>野々山清子 東郷町民生委員児童委員協議会</p> <p>朝倉隆行 居宅サービス関係（メドック東郷）</p> <p>松山陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）</p> <p>神脇和美 住民代表（第1号被保険者）</p> <p>海老原由美 住民代表（第2号被保険者）</p>
欠席者	<p>松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会）</p> <p>福島美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護ステーション連絡協議会）</p> <p>杉原孝子 瀬戸保健所 健康支援課</p> <p>森本美香 こども健康部 健康推進課</p> <p>村井良則 有識者（東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ）</p> <p>小幡一雄 施設サービス関係（愛厚ホーム東郷苑）</p>
傍聴者	なし
事務局	<p>福祉部長</p> <p>高齢者支援課長（進行）</p> <p>高齢者支援課職員 4名</p>
議題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 第3回在宅医療・介護連携推進部会について</p> <p>(2) 地域支え合い協議体について</p> <p>3 議題</p> <p>東郷町の地域課題の全体まとめについて</p> <p>4 その他</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和3年度 第3回在宅医療・介護連携推進部会報告書</p> <p>資料2 令和3年度東郷町地域支え合い協議体の報告</p> <p>資料3 東郷町の地域課題全体まとめについて</p>

## 1 あいさつ

## 2 報告事項

### (1) 第2回在宅医療・介護連携推進部会について

事務局	資料説明。資料1
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

### (2) 地域支え合い協議体について

事務局	資料説明。資料2
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問はあるか。
委員	勉強会に23人参加して、18名がプレ協議体に残ったということだが、残り5人について参加を継続しなかった理由を聞いていれば教えて欲しい。
事務局	勉強会後のアンケートでプレ協議体への参加の可否について聞いた。参加を希望されない方には理由を書く欄も設けた。参加しない理由として話の趣旨自体が難しかったと答えた方と二圏域という単位が大きすぎる。自治会単位でも活動が出来ていないのに、圏域毎となると活動はもっと難しいのではないかということが記載されていた。

## 3 議題

### (1) 東郷町の地域課題について

事務局	資料説明。資料3
委員長	これから議題を進めていくが、これまでの2回の会議で意見を出していただいているのでゼロからの議論ではない。令和3年度については最後の会議となるので、10分野の地域課題をつなぐ意見でも良いので積極的に発言していただきたい。
委員	他の項目ではなかなか発言できないので、1(1)低栄養・脱水のア、イについて意見を言いたい。男性を対象とした料理教室は健康推進課で実施している。自分も妻が骨折した時に料理を始めとした家事を手伝う機会があった。お湯を掛けるだけ、温めるだけというお惣菜も沢山ある。「料理教室」というと肩が凝るので電子レンジの範囲で出来る「簡単クッキング」等を企画できると良いと思う。
委員長	1(1)低栄養・脱水について加えて意見はあるか。
委員	独居で配食サービスを受けている方のお邪魔した。退院して1、2日目の方の家だった。嚥下障害がある方用の咀嚼が必要ないメニューが届いていたが、食欲をそそるような見かけではなかった。提供する業者の意図はわかるが、咀嚼が必要ないという目的は達成されていたがそれ以外への配慮は感じなかった。自分たちももっと業者にそういうことを伝えなければいけないと思った。
委員長	業者が行うサービス内容のチェック機能をどうしていくと良いかというご意見と調理技術を伝えるだけではなく、簡単調理キットをうまく活用していけないか

	というご意見だった。
委員長	1(1)低栄養・脱水について加えて意見はあるか。
委員	ウのケースの栄養状態を見ていくシステムについて、高齢者は75歳以上になると長寿健診になる。低栄養について指導が必要な場合、相談にのれるシステムが必要になると思う。自分は会社勤めの時メタボと診断され、会社の保健師が1年間経過を見てくれた。
委員長	高齢者支援課からこれまでのご意見について、追加で説明はあるか。
事務局	男性の料理教室について追加の説明をする。低栄養予防を目的として、包丁や難しい技術を使わない料理教室を実施している。他の方にも知っていただくために教室で使用したレシピを公表する等していきたい。また高齢者支援課ではないが、健診後のフォローアップについて医師から栄養指導が必要と判断された方が指導を受けられる体制づくりを始めている。今後もこういった事業を周知・啓発していきたい。
委員長	料理教室というのは低栄養の方に対応した教室ということか。
事務局	低栄養状態が疾患に起因する方もいるので全ての方は網羅できないが、低栄養の方にはたんぱく質などの栄養をしっかり摂っていただけるような高齢期に必要なレシピを紹介していく。
委員長	配食サービスの見た目についてのご意見に、自分も同意見である。以前勤めていた施設でもペースト食だと食べない方がいた。口に入れても出してしまう。食べる意欲も削がれてしまう。ただし一般食も誤嚥の危険性がある。皆さん色々工夫されていると思う。
委員	近所の方と高齢者の家を訪ねた時に、近所の方がペースト食にニンジンをすりおろして入れただけでもきれいな色になった。近所の方は昔栄養士をしていた。ほんの少し塩を入れるふりをするだけでもおいしく感じる。私はその場では何もしなかったが、その人を見守っていたから近所の方のやり方を知ることが出来た。他の人でもやってみようと思った。新しく開拓した気持ちになった。人と人の助け合いを深める手段がそこにあった。
委員長	今のお話は共助の領域だと思う。
委員	2(4)の成年後見制度の利用・普及啓発について、転ばぬ先の杖ということで成年後見制度の利用が当たり前になってくるための啓蒙活動が大事。東郷町の中での周知も足りないし、テレビなどで取り上げられるということも、今されていない。2(4)のウ身元保証会社との棲み分けについても、調整が上手くいかない場合に施設や病院がリスクを抱えないといけない現状がある。啓蒙活動が大事だと思う。
委員長	制度を知ってもらうには時間がかかる。学生に成年後見制度の話をしたときに「成年後見制度」というテーマにしてもみんな興味を持たないので、「あなたのお金を守ります」という言い方の方が良いのではないかという意見があった。周知の仕方をここで検討できると良い。
委員	今まさに成年後見制度を勧めている方がいる。そこで聞かれるのは他人にお金

	を管理されるのは心配という声。判断能力が低下した後に粛々と手続きを進めるのではなく、若い時からこの問題を考えていけると良いと思う。また、社協が策定している地域福祉活動計画とも整合性を取っていく必要があると思う。
委員	包括で成年後見制度をテーマとした出前講座を実施しているが、今年度は一件もこのテーマでの依頼がない。申し込みたいと思ってもらえるように来年度に向けて出前講座のチラシのレイアウトを変えている。
委員長	高齢者支援課からこれまでのご意見について、追加で説明はあるか。
事務局	成年後見制度の周知啓発について説明を追加する。本町でも十分な周知が出来ていない。第3木曜日に尾張東部権利擁護支援センターの巡回相談を実施している。その他にも実務講座等の開催を各市町持ち回りで実施している。住民への周知方法を権利擁護支援センターと地域包括支援センターを含め、今後検討していきたい。
委員長	成年後見制度の周知・啓発についてはどこの地域も同じ課題を抱えていると思う。どの市町も根本的にできていない課題に対して東郷町が一步進んでわかりやすく、ターゲットを絞ってやれると良いのではないか。この課題はやらないと10期も11期も12期もずっと課題として残る。ここで集中的にやるための実績を9期に向けて蓄えられれば良いのではないか。 施設で身元引受人がいないことで苦勞された経験があるか。
委員	有料老人ホームは身元保証人がいないと入所できないので、その点で苦勞したことはない。それ以外でいうと入所されている方が財産を持っているが判断力が低下している場合に施設が間に入って色々なことをやっている。有料老人ホームに入所している方も、在宅で独居の方もケアマネと連携して早め早めに成年後見制度の活用を進めていく事が大事。東郷町は町なので事務局の負担になるが、独居で親族がいない方のピックアップをして進められると良いのではないか。
委員	多職種カンファレンスを実施していて、1(1)低栄養・脱水、1(2)リハビリ体制の構築に共通して言えることだが、「専門職へのアプローチのしにくさ」という課題がある。東名古屋医師会の中でも東郷町は訪問診療の実績が一番低い。訪問診療、訪問リハビリ、訪問栄養指導、訪問薬剤指導をもっと進められると良い。指導を受けられることだけが目的ではなく「普段の生活の中で取り組みやすい」ということがキーワードになることが多い。
委員	1(1)低栄養・脱水のエの、「サービスを受ける方の身近にいるヘルパーや訪問看護師の意見をケアマネが吸い上げるシステムが必要」というところに自分の意見は集約されている。歯科衛生についてもヘルパーに伝えた声がケアマネに伝わっていないということがある。そこを改善できると良い。
委員長	9期ではそのようなシステムも課題となってくる。ここまでのところで、ご意見あるか。
委員	いろんな問題があり、何を優先してというのは決めかねる。やはり専門職に繋ぐという部分はハードルが高いので、必要なときに繋がるように日頃から顔つなぎが出来ていることが必要。そのためには繋ぐという実績を作ることが大事。繋

	ぐという実績を積んで、他の人がそれを見て知るとい形が良いのでは。
委員長	1(2)リハビリ体制の構築についてご意見あるか。
委員	いろんな課題があつて大変なんだと感じた。介護認定を受けている人は状況を把握しやすいが、フレイルになり始めている人は把握しにくい。健診でメタボチェックがあるという話があつたが、健診にフレイルの項目もあれば良いと思う。ただし、それでも健診に行かない人は把握できないという問題は残る。
委員長	2(1)認知症高齢者の見守り体制、2(5)生活困窮者への支援についてご意見あるか。
委員	1(4)住民等による組織的な支援体制の不足、2(1)認知症高齢者の見守り体制について社協の話をしたい。計画にも記載してほしい。現在和合ヶ丘で地区社協の勉強会を実施している。手伝いたい人と手伝ってほしい人のマッチングの仕組み作りをして地区社協にしたい。一つの自治会で取り組みが有効とわかれば、他の自治会にも広がっていくと思う。令和4年度中の地区社協成立に向けて動いている。また、そのためにコーディネーターの養成をしている。この辺りにも触れて欲しい。2(5)の生活困窮者への支援については引き続き事業を継続していきたい。
委員長	一般的にマッチングに労力がかかると言われているが、その部分に労力がかかると感じているか。
委員	手伝ってほしいが、家の中に他人が入ることに抵抗があるなどの問題があるようだ。
委員長	人的労力、時間的労力などかなと思っていて、そのような問題があるのか。手伝いたいと答えた方がどのような形で手伝えると答えたのかも今後知りたい。
委員	書面を見ていて難しい言葉が多いと感じる。自分に身近な人たちが困っている事が多いのは、親や身近な人に介護が必要になった時、どこに相談したら良いか、意見を求めたら良いかわからないということ。一つの機関でも良いので親身に相談に乗ってもらえると良い。介護が必要な人とずっと一緒にいるのはしんどい。気軽に集まれる場所や同じ環境の人がホッとできる場所があると良いと思う。支えてくれる人が多い世の中が良いと思う。
委員	2(4)生活困窮者への支援で、サービスを提供している中で支払いが滞る方がいる。通常であれば支払いが滞ればサービスを止めますよとなるが、そうすると本人が非常に困るのでこちらが我慢して待つことになる。また1(2)リハビリ体制の構築で介護認定を受けている人はリハビリを受けやすいとあつたが、介護予防事業にもっと参加しやすいと良いと思う。先日87歳の実母から通販で買った歩行器を組み立てて欲しいと頼まれて見に行つたが、実母が使つたらすぐに転倒してしまうような商品だった。もっとカーブ的な要素をサロンで実施する等してほしい。
委員長	言い残しも含めて第9期に向けてやっていけると良い事はあるか。
委員	2(2)独居高齢者の見守り体制で「私の在宅サービスチームカード」を作成するという提案があつたが、地域にいる専門職をうまく活用することが在宅療養を進める上で大事。それをアピールする場が必要。ケアマネがケアプランを作成する

	<p>のでケアマネが専門職と繋がる事に対して心理的な抵抗がない様にすることが大切。そういう意味で専門職への研修が大切で、第9期に向けても柱になってくると思う。</p>
委員長	<p>4月以降これらの意見を具体化していく事になる。専門職の活用、多職種の連携等になってくると思う。また、それだけではなく住民への周知広報などが柱になってくると思う。皆さんから引き続きご意見をいただきたいと思う。それでは、本日の議題はこれで終了とさせていただきますので、事務局の方にお返ししたいと思います。</p>

#### 4 その他

事務局	<p>次回の地域ケア推進会議は令和4年5月頃を予定している。次回は令和4年度の事業について御報告させていただくほか、第9期に向けてどう進めていくかなど、こちらでもまとめて皆様からご意見をいただく予定。第9期を良い計画にするために沢山ご意見いただきたいと思う。</p> <p>これをもちまして第4回東郷町地域ケア推進会議を終わります。長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。</p>
-----	---

以上